

新政レポート

vol.21

臨時号 令和5年6月9日

発行元

舞鶴市議会
新政クラブ議員団
責任者/今西 克己

令和5年3月定例会の後半編と臨時会の内容をお届けします！

3月定例会の審査結果

3月定例会で提案された第1号～第32号議案のうち、第12号議案と第32号議案を除く全ての議案は承認・可決されました。

◎令和4年度補正予算を可決

コロナ禍における急激な原油価格・物価高騰緊急対策として市内業者への支援や防災・減災対策・西舞鶴西口駅前広場整備事業や交通安全推進事業などのまちづくり推進事業等

◎令和5年度当初予算を可決

市制施行80周年を迎える中、未来に向けての「骨格型」予算

◎閉会中の継続審査、第12号議案・第32号議案

※第12号議案「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定」

※第32号議案「舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定」



「継続審査」ってどういうこと？その理由は？

継続審査となった議案

第12号議案 舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について

第32号議案 舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について

◆第12号議案と第32号議案は、総務消防委員会に付託され審査されました。委員から、特別職報酬等審議会条例には、「市長は、特別職報酬等の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ、当該特別職報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする」と、明記されており、今回のこの提案は、この条例の定めに添っていない等の意見が出されました。委員会において、継続審査の動議が提出され、採決の結果、賛成多数で継続審査になったものです。

特別職報酬等審議会

5月22日に報酬等審議会が開催され、審議会では、「人口や、経済面で報酬を審議する場であり、政治的な自主減額は審議にはそぐわない」等の意見が出て、諮問を要しないとの判断が示されました。

新政クラブ議員団 の考え方

我が会派は、市長が先の市長選挙の公約のひとつに掲げた「市長給料の3割カット、退職金はゼロ」に対して、民意も踏まえた上でしっかりと議論している。大事なことは、いかに市民との公約であっても、舞鶴市には条例が制定されている。「舞鶴市特別職報酬等審議会条例」第2条第2項には、「市長は、特別職報酬等の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ当該特別職報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする」と定められている。加えて過去、報酬等審議会の答申において自主的減額措置においては、慎重に取り扱うよう求められていることからあくまで審議会に諮問し、まずは、手続きを踏んでから議会に提出するよう意見したものであります。

討論 第1号議案 令和5年度 舞鶴市一般会計予算について

骨格予算とされたが、令和4年度から8億4188万円の増額であり、多々見前市長が令和5年度に計上される予算のほぼ、そのままが提出された。心豊かに暮らせる便利な田舎暮らしの考え方であり賛成である。令和5年度一般会計367億9347万円のうち、市税収入は114億6630万円であり、国や府から予算措置を頂くことは極めて重要である。主な財源は、地方交付税が70億1200万円、国庫支出金は63億5541万6千円である。

特に、デジタル田園都市国家構想交付金は1億2455万2千円、防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金が6億6549万2千円、都市構造再編集中支援事業交付金は8250万円が財源として確保されている。また、府支出金は31億5973万5千円の歳入が見込まれている。これらは一朝一夕でできるものではなく、繰り返し、何度も多々見前市長自らが要望に上京されたこと。市議会と商工会議所と連携して合同要望活動を重ねていること。全国市議会議長会基地協議会を通じて、防衛関連予算の拡充と確保を求めて続けて来たこと。

京都府知事や国・政府、関係国会議員と連携して街づくりを行ってきたことが財源確保につながっている。どれだけの人間が、どれだけの機関が働いて、関わって、この舞鶴に財源措置がなされているか、改めて申し上げたい。



令和5年 第2回 臨時会

以下の3議案が提案され承認!可決!

- 第33号議案 専決処分の承認を求めるについて(令和4年度舞鶴市一般会計補正予算[第11号])
- 第34号議案 専決処分の承認を求めるについて(舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定)
- 第35号議案 令和5年度一般会計補正予算[第1号]
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費
「物価高騰の影響を受ける低所得者の子育て世帯に児童一人当たり5万円の給付金を支給」

賛成
討論

第35号議案、令和5年度 舞鶴市一般会計補正予算(第1号)、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費は、低所得の子育て世帯に対して、9800万円を特別給付金として支給するというものです。本日5月8日から、感染症法で、新型コロナウイルス感染症は「5類感染症」となりました。発生から3年間、人の関係性や暮らしにも大きく影響があり、特に就業への影響は大きく、働く場がなくなったり、収入の激減などは大きく人の暮らしを直撃しました。加えて、ロシアのウクライナ侵攻などの影響もあり、現在の物価高騰に直面したひとり親世帯や低所得世帯の暮らしは、厳しい状況で、就業するにも時間的制限があり育児と日々の生活を精一杯維持されているご家庭があります。児童扶養手当の支給日まで、家計がもたない世帯が現実にあり、子どもの成長に欠かせない「食べる」こと、また教育に関する環境を整えることの厳しさがあります。京都府では、ひとり親を支援する、暮らしを支える、応急援護資金等貸付事業、応急援護資金及び生活福祉資金(京都府社協委託事業)の貸付相談があります。



利用されているご家庭は多く、今回の給付対象児童は、赤ちゃんから18歳、障害児は20歳までの1792人となっています。支給時期は、5月下旬頃から、可能な限り速やかに支給されるということです。一刻も早くにお手元に渡ることで安心した暮らしの支援となりますことを願いまして賛成といたします。

そのほか第33号議案、専決処分の承認を求める令和4年度舞鶴市一般会計補正予算第11号、第34号議案は、特段申し上げることはありません。

委員会 視察等の状況

- 委員会視察は、主に令和5年の重点項目について視察しました。
- 目的に応じ全国の先進市を訪問し、効果的な視察を実施しました。



議会運営委員会

- ①滋賀県東近江市
▶議会改革の取組
・市民と議会の意見交換会等
- ②長野県飯田市
▶議会改革の取組
・行政評価等



市民文教委員会

- ①長野県塩尻市
▶中央図書館機能と図書館機能の再編
- ②群馬県前橋市
▶新たな地域コミュニティ形成に係る取組
- ③静岡県焼津市
▶地域で活動するスポーツ団体との連携について



総務消防委員会

- ①兵庫県養父市
▶移住定住の促進施策
- ②愛媛県西条市
▶移住の促進取組
- ③広島県三原市
▶持続可能な財政運営



産業建設委員会

- ①愛知県刈谷市
▶刈谷駅北地区整備計画
- ②三重県伊勢市
▶中心市街地活性化基本計画
- ③静岡県藤枝市
▶若者の就労支援促進に向けた取組み



福祉健康委員会

- ①愛知県蒲郡市
▶生活習慣改善の取組
- ②埼玉県坂戸市
▶食を通じた健康づくり
- ③千葉県市原市
▶産官学の連携によるフレイル予防



野瀬
貴則

山本
治兵衛

田畠
篤子

今西
克己

眞下
隆史

眞下
弘明